

憲法
教育基本法

学習指導要領

学校教育目標
求めて学び、共に育つ子
「ひとりになれる ひとつになれる」

学校長の願い
・誰もが元気に学校に来る
・生きる力の育成
・ふるさとに学ぶ

長野市教育大綱
「敬愛の心」「思いやりの心」
児童一人一人の人間性を深く豊かに伸ばし、深い思いやりの心と基礎的な学力、強靱な意志力と体力の育成をする。

全校研究テーマ
一人ひとりがその子らしい力を発揮し、磨き合い、
高まり合う子どもの姿を求めて

教職員の研修
◎教師自身の生き方を常に問い直し、他から謙虚に学びつつ視野を広げ、使命感のもてる幅広い研修に努める。
○各々が自己の教育課題を明確にして日常の実践に努めると共に、お互いに授業公開・授業研究会を通して子どもを見る目を養い、楽しい授業・基礎基本が身につく授業づくりを目指す。
○学校目標の具現にむけての互いの実践計画や実践を発表し合う中で、互いに学び合い、学級経営に活かしていく。(学期に1回)
○学校自己評価から、保護者や児童の願いを知り、改善を図る。
○職員研修を行い、自己研鑽に努める。

教科・道徳
◎考えを自らの言葉で表現できる力の育成に向け、各教科における、情報の収集、分析・まとめ、言語化し伝える(話す・書く)活動の充実を図る。
○豊かな言語活動にしていくために、体験的な学習・問題解決学習・学習発表会などの場面設定をする。
○基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着のためのドリル学習を全校で取り組み、内容の充実を図る。
○言語活動に向けた豊かな言葉の習得のために朝の時間に読書の時間を取り入れる。
○ふるさと清野の自然・人に、じっくり学び、関わる・見つける・こだわる・調べるといった探求活動の充実を図る。
○自然や人の心の美しさ、優しさや人の心の痛みがわかり、人や自然・物・時・場所を大切にする心を育てる。

特別活動
◎小規模校の良さを生かし、自信と成就感を感じ得る一人ひとりの子どもを前面に立てた学びを保障し、自信を持たせる。
○子どもの気づきや着想を生かすようにし、興味や関心を高めながら仲間と共に意欲的・自発的に取り組めるようにする。
○地域や学校における諸活動への関わりを深め、学年の枠を越えた仲間づくりに努める。
○集会活動や当番活動の日常活動に日頃から自主的に取り組み、自分たちの力で校内生活をよりよいものにしていくとする。

生徒指導
◎自らの手で、自らの生活を高める活動の充実に向け、児童会係や学級活動との関係を大切に考えていく。
○学級づくりを通して、一人ひとりの児童が居場所・生きがい・存在感を持って、目標に向かって活動し自己実現を図るようにする。
○自分や友達の良さを見つめ合い、大事にして「自尊感情」を高める指導に努める。
○一人ひとりが願いを持ち、気づきや着想を大切にしながら自分の良さが分かり力が発揮できるような課題を継続して取り組むよう支援する。
○全職員が全校児童の担任であるという気持ちで見守り、生活や学習について気づきを話し合っ共通理解を深める。

行事
◎運動会等の行事、児童会活動といった個の高まり、集団の高まりを創造し、互いに認め合える関係を構築していく。
○小規模校の利点を生かし、一人ひとりの子どもが活動に楽しく参加し、他の子の活動がその場に応じて実感できるように図っていく。
○学校集団の中で自己の役割を持てるようにして、全校児童が互いの関わりが深まるように全校集会や姉妹学級等、活動の場の工夫を図っていく。

保護者・地域との連携
◎地域を育てる関係者との関係を図り、共に子どもを育て合う共通基盤に立つように努める。(育連協、公民館等)
○挨拶などの基本的な生活習慣における課題を家庭と共有化しながら指導に役立てていく。
○PTA登下校街頭指導、「清野地区子どもの安全を守る会」との連携をしながら、安全指導を充実させる。
○地域の方から学ぶ機会を取り入れていく。

人権・同和教育
お互いに相手を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる力を育てると共に、自分を大切にし、自信をもつ自尊感情の育成

学級づくり
・子どもの具体的事実から子どもをよみとり、子ども一人ひとりの自己表出を大切にしながら、美しさが分かり、思いやりのある人間関係を基にした学級づくりを目指す。
・子どもたちが共に考え、共に解決していく活動の場を通して、最後までねばり強くやりぬき自己実現していく学級集団づくりを目指す。

総合的な学習の時間
・「自ら学び、考え、発表できる清野の子」の育成を目指し、地域性を生かした学習を窓口にして自己課題や学級課題等を追求の糸口として大事にしていく。
・地域社会との新しい連携の中で、特色ある学校づくりや創意工夫のある学習活動を展開し、教科等で身につけた成果を総合的に生かすように図っていく。